



## 2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年11月13日

上場会社名 ウィルソン・ラーニング ワールドワイド株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9610 URL <http://www.wlw.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長CEO (氏名) 森 捷三  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員グローバルコーポ (氏名) 渡壁 淳司 TEL 03-6381-0234  
 レート本部本部長  
 四半期報告書提出予定日 2018年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第2四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	1,354	△8.3	△132	—	△117	—	△104	—
2018年3月期第2四半期	1,476	△3.1	△120	—	△122	—	△114	—

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 △29百万円 (—%) 2018年3月期第2四半期 △100百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	△20.35	—
2018年3月期第2四半期	△22.16	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	3,419	2,589	75.8	502.51
2018年3月期	3,627	2,619	72.2	508.16

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 2,589百万円 2018年3月期 2,619百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年3月期	—	0.00	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定であります。

### 3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,620	3.3	130	△47.0	130	△47.3	100	△17.0	19.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	5,154,580株	2018年3月期	5,154,580株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	542株	2018年3月期	542株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	5,154,038株	2018年3月期2Q	5,154,040株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。経済情勢の変化等の不確定要素により実際の業績が記述の予測数値と大幅に異なる可能性があります。

（日付の表示方法の変更）

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

①業績の概要は、次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間の世界景気は回復基調にあり、先進国を中心に企業業績や株価も堅調に推移しました。しかし、米国の保護主義的な経済政策の影響により、今後の見通しは不透明な状況です。特に中国市場における影響は大きなものがあります。

人材育成の重要性、特にリーダーシップの育成の重要性は、世界共通で認識されています。また、営業力の強化ニーズは引き続き底堅く継続しております。当社グループでは、ATD (The Association for Talent Development) 等販売促進イベントへの出展・講演や、Webベースでのマーケティング等を第1四半期連結累計期間より継続して行っており、グローバルでのWLWグループのプレゼンスを高め、リード増加に努めております。こうした流れを受けて、北米・欧州主体に大型プロジェクトの引き合いをいただいておりますが、国内においては求人倍率が1970年代以来の高水準となるなど、国内・国外とも営業要員の確保が重要な課題となっており、ニーズや引き合いに対応する営業体制の整備が遅れ気味となっております。こうした影響もあり、グループ全体では減収になり、営業赤字を計上しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高13億5千4百万円（前年同期比8.3%減）、営業損失1億3千2百万円（前年同期は1億2千万円の営業損失）、経常損失1億1千7百万円（前年同期は1億2千2百万円の経常損失）となっております。また親会社株主に帰属する四半期純損失は1億4百万円（前年同期は1億1千4百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

②セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (イ) 国内

新規事業創出型ワークショップや次世代リーダーシップ研修の新規案件など、新しいリーダーシップ育成型研修の提案や受注は堅調に推移していますが、前連結会計年度に匹敵する大型案件の受注を当第2四半期連結累計期間には獲得しておりません。

一方で、前述のとおり、営業要員の確保が重要な課題となっており、採用活動を継続して行っております。このような要因により、当第2四半期連結累計期間は減収となり、原価率は前第2四半期連結累計期間と比較して改善しておりますが、海外からのロイヤルティ収入の減少と、今年度商品開発のための研究開発費用を増額したため、営業赤字が前年同期より拡大しました。

この結果、売上高5億5千1百万円（前年同期比12.4%減）、営業損失1億1千9百万円（前年同期は1億1千2百万円の営業損失）となりました。

#### (ロ) 北米

大型ライセンス契約の締結が、当第2四半期連結累計期間は低調に終わったため減収になりました。当該期間中は利益率が高い大型のライセンス案件比率が少なかったため、原価率が一時的に悪化しました。一方で、当第2四半期連結累計期間の経費関連の支出を抑制したため、原価率の影響は小さくなりましたが、昨年に引き続き営業赤字となりました。

重要な課題である営業要員の採用は複数名行い、引き続き第3四半期連結累計期間も採用を継続していく予定です。

この結果、売上高8億9百万円（前年同期比2.0%減）、営業損失2千9百万円（前年同期は2千5百万円の営業損失）となりました。

#### (ハ) 欧州

マーケティング戦略と若手営業要員の早期育成に成功したことが功を奏しており、イギリス、フランスとも売上高は順調に推移しました。また北米からのインバウンド案件が増加したことも、売上増に影響しております。

この結果、売上高2億2千9百万円（前年同期比2.8%増）、営業利益3千3百万円（前年同期比94.7%増）となりました。

#### (ニ) 中国

営業体制の刷新・強化に引き続き努めておりますが、米国の保護主義政策の影響によって、欧米を本社とするグローバル企業の現地子会社である顧客群の研修予算が大幅に減少もしくは凍結されました。

新規の受注活動ではこの減少幅を補完することができず、第1四半期連結累計期間に続き営業赤字となりました。

この結果、売上高3千7百万円（前年同期比43.3%減）、営業損失2千7百万円（前年同期は2百万円の営業利益）となりました。

(ホ) アジア・パシフィック

オーストラリアで採用した営業要員が戦力化したこと、APAC地域を広域でカバーするマーケティング戦略やそれに伴う大型の研修受注など新たな動きがあり、売上高は順調に増加しました。直接受注案件の増加や、バックオフィス業務の統合化等で原価率及び販管費が改善し、営業黒字化しました。

この結果、売上高8千8百万円(前年同期比13.6%増)、営業利益1百万円(前年同期は4百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(イ) 流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、27億5千8百万円(前連結会計年度末は30億4百万円)となり、2億4千5百万円減少しました。これは、主に現金及び預金の増加3億8千8百万円がありましたが、受取手形及び売掛金の減少6億5千9百万円があったことによるものです。

(ロ) 固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、6億6千万円(前連結会計年度末は6億2千3百万円)となり、3千7百万円増加しました。これは、主に投資有価証券の減少1千3百万円がありましたが、繰延税金資産の増加2千9百万円、敷金及び保証金の増加1千5百万円があったことによるものです。

(ハ) 流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、6億3千7百万円(前連結会計年度末は8億2百万円)となり、1億6千5百万円減少しました。これは、主に前受金の増加6千万円がありましたが、買掛金の減少6千2百万円、未払費用の減少7千8百万円、賞与引当金の減少3千4百万円があったことによるものです。

(ニ) 固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、1億9千1百万円(前連結会計年度末は2億5百万円)となり、1千4百万円減少しました。これは、主に長期借入金の減少1千9百万円があったことによるものです。

(ホ) 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、25億8千9百万円(前連結会計年度末は26億1千9百万円)となり、2千9百万円減少しました。これは、為替換算調整勘定の増加7千6百万円がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による利益剰余金の減少1億4百万円があったことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ3億8千4百万円増加し、20億3千5百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果増加した資金は、3億8千1百万円(前第2四半期連結累計期間は1億5千3百万円の資金の増加)となりました。この主な理由は、税金等調整前四半期純損失1億1千7百万円を計上し、支出として仕入債務の減少6千6百万円、未払費用の減少8千6百万円等がありましたが、収入として売上債権の減少7億2百万円等があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果減少した資金は、8百万円(前第2四半期連結累計期間は1百万円の資金の増加)となりました。この主な理由は、投資事業組合分配金による収入1千1百万円等がありましたが、教材用コンテンツの取得による支出4百万円、敷金及び保証金の差入による支出1千5百万円等があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果減少した資金は、2千4百万円(前第2四半期連結累計期間は2千2百万円の資金の減少)となりました。これは、長期借入金の返済による支出1千9百万円、リース債務の返済による支出5百万円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の業績予想につきましては、2018年5月14日に公表した連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,704,294	2,092,634
受取手形及び売掛金	1,193,612	533,924
有価証券	38	38
たな卸資産	25,833	32,979
その他	87,333	106,207
貸倒引当金	△6,750	△7,222
流動資産合計	3,004,361	2,758,561
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物 (純額)	14,144	13,477
工具、器具及び備品 (純額)	18,902	15,467
土地	19,843	19,843
リース資産 (純額)	36,862	32,254
有形固定資産合計	89,753	81,043
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	4,614	4,152
教材用コンテンツ	22,810	21,305
リース資産	—	13,766
その他	567	2,263
無形固定資産合計	27,992	41,488
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	160,467	146,755
長期貸付金	4,060	2,046
退職給付に係る資産	79,390	81,416
敷金及び保証金	93,899	109,788
繰延税金資産	154,269	183,798
その他	20,554	19,311
貸倒引当金	△7,071	△5,178
投資その他の資産合計	505,569	537,938
固定資産合計	623,315	660,470
資産合計	3,627,677	3,419,031

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	166,231	103,963
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	38,760	38,760
リース債務	10,437	13,666
未払金	16,134	6,115
未払費用	206,505	128,221
未払法人税等	24,962	13,722
未払消費税等	31,472	11,592
前受金	104,838	165,448
賞与引当金	67,768	33,526
役員賞与引当金	16,890	7,978
その他	18,779	14,527
流動負債合計	802,780	637,522
固定負債		
長期借入金	70,830	51,450
リース債務	30,513	37,227
繰延税金負債	35,388	35,259
退職給付に係る負債	2,565	2,456
資産除去債務	50,199	50,475
その他	16,322	14,671
固定負債合計	205,819	191,539
負債合計	1,008,600	829,062
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	722,698	722,698
資本剰余金	557,452	557,452
利益剰余金	1,130,558	1,025,657
自己株式	△216	△216
株主資本合計	2,410,493	2,305,592
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,167	2,103
為替換算調整勘定	205,416	282,274
その他の包括利益累計額合計	208,583	284,377
純資産合計	2,619,077	2,589,969
負債純資産合計	3,627,677	3,419,031

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	1,476,986	1,354,547
売上原価	476,780	426,672
売上総利益	1,000,206	927,874
販売費及び一般管理費	1,120,287	1,060,699
営業損失(△)	△120,081	△132,824
営業外収益		
受取利息	1,230	1,049
受取配当金	1,000	1,000
貸倒引当金戻入額	—	1,893
為替差益	—	19,447
賃貸料収入	6,937	11,034
投資事業組合運用益	7,371	—
雑収入	2,746	3,753
営業外収益合計	19,285	38,178
営業外費用		
支払利息	1,955	2,477
為替差損	9,085	—
持分法による投資損失	608	846
賃貸収入原価	6,937	11,034
雑損失	3,416	8,260
営業外費用合計	22,004	22,619
経常損失(△)	△122,799	△117,265
税金等調整前四半期純損失(△)	△122,799	△117,265
法人税、住民税及び事業税	9,868	6,273
法人税等調整額	△18,459	△18,638
法人税等合計	△8,591	△12,364
四半期純損失(△)	△114,208	△104,901
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△114,208	△104,901



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純損失(△)	△114,208	△104,901
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,397	△1,064
為替換算調整勘定	15,649	76,858
その他の包括利益合計	13,252	75,793
四半期包括利益	△100,956	△29,107
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△100,956	△29,107

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△122,799	△117,265
減価償却費	15,716	19,835
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	8,789	△1,652
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△37,574	△36,193
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△15,296	△9,594
受取利息及び受取配当金	△2,230	△2,049
支払利息	1,955	2,477
持分法による投資損益 (△は益)	608	846
投資事業組合運用損益 (△は益)	△7,371	767
売上債権の増減額 (△は増加)	364,360	702,468
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△5,512	△5,818
その他の資産の増減額 (△は増加)	3,314	△14,455
仕入債務の増減額 (△は減少)	11,734	△66,223
前受金の増減額 (△は減少)	△39,208	55,835
未払金の増減額 (△は減少)	△8,949	△11,654
未払費用の増減額 (△は減少)	△7,808	△86,148
その他の負債の増減額 (△は減少)	△1,803	△27,591
その他	233	△2,149
小計	158,158	401,435
利息及び配当金の受取額	2,082	2,031
利息の支払額	△1,963	△2,488
法人税等の支払額	△4,348	△19,153
営業活動によるキャッシュ・フロー	153,929	381,825
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	13,840	—
投資事業組合分配金による収入	11,900	11,880
有形固定資産の取得による支出	△10,895	△2,434
ソフトウェアの取得による支出	△5,353	△171
教材用コンテンツの取得による支出	△8,265	△4,609
敷金及び保証金の差入による支出	△346	△15,596
敷金及び保証金の回収による収入	197	—
貸付金の回収による収入	—	2,166
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,076	△8,765
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△19,380	△19,380
リース債務の返済による支出	△3,374	△5,212
自己株式の取得による支出	△10	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△22,765	△24,592
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,323	36,137
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	139,563	384,604
現金及び現金同等物の期首残高	1,667,189	1,650,415
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,806,752	2,035,020

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。